

市況概要

※月別（ ）内は前年同月比

(1 月) 新型コロナの規制緩和により、海外からの観光客も増え賑わいをみせ、国内の冠婚葬祭も以前に戻りつつあるが、依然、原油高と円安による影響が大きく、輸入品の数量が増量しない為、全般高値ではあるが、数量が増えない。

数量	14,475	本	(3.3%)	の増
金額	5,553,415	円	(13.7%)	の増

(2 月) 円安の為、輸入品が減少し、また、国内では原油高と電気代の値上げで、思うように暖房できず、結果、開花時期がずれ込み、入荷量が減少し、全般に高値となった。

数量	30,568	本	(6.2%)	の減
金額	10,424,437	円	(25.1%)	の増

(3 月) コロナウィルスの規制緩和により、日常生活が回復し色々なイベントも制限なく行われるようになり、それに伴い花の需要も少しではあるが回復の兆しが見えてきた。

数量	13,219	本	(1.6%)	の増
金額	3,128,398	円	(4.1%)	の増

(4 月) 運送運賃の値上げに伴い、一層市況に敏感になり集荷がしづらい状況になってきた。

数量	51,964	本	(8.0%)	の減
金額	9,056,275	円	(14.8%)	の減

(5 月) 今春の気温高で県内で13,000本、県外で18,000本の増量、切花は母の日需要も鈍く残念な結果となったが、鉢物は春が早まったのか、活発な動きとなった。

数量	31,225	本	(4.8%)	の増
金額	10,031,783	円	(15.4%)	の減

(6 月) 切り花は東北絆祭り等のイベント需要で、それまでの軟調だった動きから持ち直した兆しが見られた。鉢物は公共事業等の植込み等で注文が集中した。

数量	33,621	本	(5.1%)	の減
金額	1,670,627	円	(3.1%)	の減

市 況 概 要

※月別（ ）内は前年同月比

- (7 月) 春からの気温高により鉢物も前進化し、7月に入り地物の鉢物も相当数の減少が見られた。
切花も前進化した品目と遅く開花し7月にズレ込んだ品目も見られ、全体的に短丈品が多く見られた。

数 量	55,101	本 (10.1%)	の増
金 額	501,731	円 (1.1%)	の増

- (8 月) 高温続きで、県内の鉢物は早々に切り上がった。
切花は何とかお盆用まで残ったが、全般的に短丈品が多く見られた。

数 量	153,457	本 (13.3%)	の減
金 額	13,636,563	円 (12.9%)	の減

- (9 月) 県内産で49,000本の減少、県外産は75,000本の減少で合計124,000本の減少となった。
国内産は猛暑の影響で、輸入品は円安と輸送費の高騰による減少と思われる。

数 量	123,995	本 (15.6%)	の減
金 額	314,909	円 (0.5%)	の増

- (1 0 月) 夏の猛暑と長引く残暑の影響で短丈品や茎の弱い軟弱品目が多く上物品が少なかった。
暖地物も上記の理由で上物品が少ない為、出荷を制限している。

数 量	54,970	本 (9.7%)	の減
金 額	8,898,821	円 (14.6%)	の減

- (1 1 月) 11月以降の秋冬期間向けに国内産も出始めてきたが、7月～11月までの定植期から出荷時期までの気温高により短丈やボリューム不足な物が多く、価格に反映された。
業務需要頼りで、一般小売りの低迷で前年同月より2円安となった。

数 量	61,555	本 (11.6%)	の減
金 額	6,941,965	円 (13.9%)	の減

- (1 2 月) 遅れて開花した品目が一斉に出始めた為、まず中央市場の相場が崩れ、地方市場に広がり、当市場も最後まで価格が上向くことはなかった。
円安ではあるが昨年より輸入品の出回りが良く、切花は前年同月比9%の増量になった。

数 量	65,907	本 (7.7%)	の増
金 額	2,956,919	円 (3.4%)	の増